

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 **豊岡市社会福祉協議会**

目 次

1. 豊岡市地域福祉計画に基づく地域福祉活動の総合的な推進	3
2. 地域における総合的な相談支援事業の推進	9
3. 新たな福祉課題に対応するためのネットワークの構築	13
4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現	14
5. 組織体制・財政基盤の強化	15
6. 第2次基盤強化計画の策定	19
7. 広報活動の推進	19

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動	20
2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習	34
3. 在宅福祉サービス	35
4. 法人運営	37
5. 介護保険・障害者サービス	41
6. その他	46

全国的に人口減少・少子高齢化の進行、地域社会や家族のあり方が大きく変化する中で、国は2025年を目途に医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を打ち出しており、地域における新たな支え合いを住民や専門職等との連携・協働のもとで推進していくことが求められています。

豊岡市においても、少子高齢化が急速に進行しており、核家族化の進展とともに、高齢者のひとり暮らしが大幅に増加しています。また、ライフスタイルの多様化の中で、近所付き合いを負担に感じる人が増えるなど、地域でのつながりが希薄になり、助け合いの力が低下している状況にあります。こうした中で、ひきこもり、ひとり暮らし高齢者の孤独死、児童虐待などの発見が困難で、また既存の制度等では対応が困難な問題が表面化しています。

豊岡市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な組織として、制度やサービスで救うことのできない様々な生きづらさを抱えた住民に対して、「地域におけるセーフティネットの砦の機能を確立する。」ために、『豊岡市地域福祉計画』の基本目標であります「住民の主体的な地域づくり」と「総合的な相談・支援体制づくり」を柱として、住民や関係機関等との連携により地域の支えあいの基盤づくりに向けて「集いの場」、「話し合いの場」づくりの支援に重点的に取り組みました。

地域の場づくりを推進する中で地域福祉フォーラムを初開催し、日頃、地域活動に取り組む方の多数の参加のもと、実践発表等を通じて活動者が自らの取組を見つめ直し、地域活動の価値を改めて知り、地域づくりの意識を高めあうことの大切さを認識する機会となりました。

制度やサービスでは対応できない地域課題に対して、社会福祉法人による公益的な取組が求められる中、本会は協議体組織として、市内全法人に参画を呼びかけ、ネットワークによる住民ニーズの共有、新たな取組の開発等の検討を行う豊岡市社会福祉法人連絡協議会「ほっとかへんネットとよおか」の設立に至り、ネットワークによる地域課題の解決に向けた新たな基盤が一つ整い始めました。

市内においては障がいのある方の障害者計画相談の新規ニーズに対して、受皿となる各障害者相談支援事業所の人員体制の不足等から迅速に計画を作成することが難しい状況にある中、豊岡、豊岡北、日高ケアプランセンターに、障害者相談支援事業の相談員を配置し、障がい分野と高齢分野を超え、総合的に相談できる機能を整えました。

「地域におけるセーフティネットの砦の機能を確立する。」ためには、その役割を担う人材育成が何よりも重要です。中長期的な人材育成、コンプライアンス等を目的に設計した新人事管理制度を平成30年4月からスタートさせ、役職・職種・経験年数に基づいた「役割」を基軸とした等級制度、評価制度について各職員へ理解浸透を図り、役割に基づいた業務の遂行、業務実績の評価による組織体制の強化に取り組みました。

平成30年度は、組織運営、財源、人材育成等の強化を定める第2次基盤強化計画策定年度であり、内部・外部識者をメンバーとした策定委員会を中心に、豊岡市社会福祉協議会が目ざすべき5

年後の有るべき姿をできる限り数値化又は具体的な状態として表して計画を策定しました。

1. 豊岡市地域福祉計画に基づく地域福祉活動の総合的な推進

地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現には、「豊岡市地域福祉計画」の基本目標に掲げる専門職と住民の協働による「総合的な相談・支援体制づくり」と、地域における住民の集いの場、見守りの場、生活支援の場(家事援助、買い物、雪かき等)といった「住民の主体的な地域づくり」が大きな中核となるものであり、地区、行政区における支えあいの基盤づくりを重点的に推進しました。

(1) 地区圏域の生活支援体制の構築に向けた支援活動の展開

人口減少、少子高齢化が進み、地域のつながりが希薄化する中、誰もが住み慣れた地域で豊かな生活が続けられるよう地域の支えあいの基盤づくりに向け、地区圏域(地域コミュニティ圏域)における「協議体(地域サポート会議)」の設置に取り組み、生活支援コーディネーターが、地域コミュニティ組織の福祉部等へ参画し、住民同士の話し合いの場の運営をサポートしました。

【協議体(地域サポート会議)への支援状況】

地区	協議体を通じた具体的な支援活動
中筋	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティなかすじ まごころ部を協議体と位置づけることについて同意を得ました。・まごころ部において、見守りマップによる地域情報や地域課題の把握に向けたファシリテートの実施や、地域福祉研修会における講師、グループワークのファシリテートを担当し、まごころ部における住民同士の地域課題や活動構築に向けた話し合いの支援を行いました。・地域課題の集約化を行い、まごころ部での救急医療情報キット等の独自啓発に向けて、市担当課等との調整を行い、独自啓発チラシにおける啓発支援を行いました。
神美	<ul style="list-style-type: none">・神美コミュニティ福祉部を協議体と位置づけることについて同意を得ました。・福祉部における定期的な情報交換の場に参加し、助言や課題整理のサポートを行い、行政区のサロン活動や玄さん元気教室等の交流活動、見守り活動が進むように集いの場(ふれあいの場)一覧表作成等の支援を行いました。・話し合いを通じて認知症の課題が上がり、地域福祉研修会の企画づくりのサポート、開催に向けて市担当課や地区内の特別養護老人ホームとよおかの里等と調整し、地域住民が認知症を学ぶ機会づくりを行いました。・研修会をきっかけに、住民が身近な介護・高齢者相談窓口として期待しているとよおかの里との連携関係づくりを進めました。

城崎	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ城崎の安心のつながり部を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・毎月の部会に際し、事前打合せを部会役員と行い、地区全体の福祉課題を意識した部会運営が図れるよう働きかけ、部会時も地域課題の話し合いが進むよう助言や情報提供を行いました。 ・部会において課題整理をサポートし、認知症の課題に対する具体的な活動の検討を進めました。認知症を学ぶ地域福祉研修会の企画づくりや、講師の役割を担い、研修会開催を支援しました。 ・研修後、さらに住民へ認知症の理解が進むよう、行政区単位の認知症研修と支え合いマップづくりの実施を提案し、次年度の取組みにつなげました。 ・地域福祉研修会に参加して認知症理解を深めた住民(5名)を、地域において認知症の方とその家族をサポートする「認知症カフェ」のスタッフとして参加につなげることができました。
中竹野	<ul style="list-style-type: none"> ・中竹野地区コミュニティのくらし部会を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・くらし部会の毎月の話し合いの場に参加しました。地域活動の担い手不足、地域人材の育成の課題に対して、他地区で開催されている取組を紹介し、活動見学の調整や新たな地域活動の検討を住民とともに進め、地域の活動者の拡大をねらいとした「コミュニティ居酒屋」実施の支援を行いました。 ・地区サロン活動(ふれあいカフェ「元気かえ〜」)の運営をサポートし、くらし部会役員に対し、サロン活動の場が住民の困りごとをキャッチし、つなぐ機能を有することができるよう提案を行いました。サロン活動に出向いて活動者の意見を聞き、くらし部会へフィードバックしながら活動のサポートを行いました。
弘道	<ul style="list-style-type: none"> ・弘道コミュニティ協議会の安心づくり部を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・安心づくり部会において、事前打合せや、部会開催時にホワイトボードを用いた意見の視覚化・集約化を行い、建設的に話し合いが進められるようサポートを行いました。 ・部会の中では、地区サロン活動(すまいるカフェ)で多世代が交流する場をつくることを軸として活動を展開するサポートを行いました。サロン活動に合わせて、防災・防犯・防火を学ぶ機会づくりの提案を行い、実施に向けた企画づくりや、開催時の運営を支援しました。
菅谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はにの里菅谷協議会の福祉部を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・福祉部会において、地域住民の意見を、ホワイトボードを用いて視覚化し、意見集約のサポートを行いました。健康づくりの課題から、「玄さん元気教室」を地区全体による実施に向けた話し合いを進める中、多世代交流を広げるため、地区サロン活動を合わせて取組むことを一緒に検討しました。その企画づくりや開催に向けた話し合いの意見集約等をサポートし、「喫茶はにの里」の実施に結び付けました。 ・地区の高齢化の課題に対し、認知症を学ぶ地域福祉研修会実施の提案を行いました。企画づくりや、講師(地域包括支援センター)の役割を担い、開催をサポートしました。

寺坂	<ul style="list-style-type: none"> ・床尾の里てらさかのささえあい部会を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・ささえあい部会で意見集約された認知症の課題に対し、認知症を学ぶ地域福祉研修会の提案を行い、研修会開催に向けた企画づくりを住民と話し合い、講師の調整を行いました。より多くの住民の参加が得られるよう、3つの地域に分けて開催し、開催当日の運営のサポートを行いました。 ・地区サロンの冬期間休止の状況から、継続して実施ができるよう提案を行い、お世話役、コミュニティ事務局との話し合いの場を持ちました。意見集約のうえ会議録を作成し、フィードバックしながら検討を重ね、実施に結び付けることができました。サロン開催時には出向き、レクリエーション講師としての役割を果たしながら、地域交流を推進する活動をサポートしました。
資母	<ul style="list-style-type: none"> ・資母まちづくり協議会の暮らしづくり部会を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・暮らしづくり部会の福祉班の部会員として参画。部会開催に合わせて部会長と打合せを行い方向性を共有し、部会時に助言や情報提供、意見集約を行うサポートを行いました。ひとり暮らし高齢者交流会開催に向けた話し合いでは、前年度の開催状況を伝えながら一緒に検討を重ねました。 ・区長・民生委員・福祉委員の福祉連絡会(社協開催)において、暮らしづくり部の取組の周知を提案し、活動の理解を広げました。 ・地区外に出られた方がふるさととつながる仕組みとして、資母地区の活動を掲載した通信「だんにゃあ」を届ける取組について、記事作成のサポートや送付作業を住民と行いました。 ・第1回地域福祉フォーラムにおいて、資母地区の活動を実践発表する機会を提案し、これまでの活動内容や、部会長など活動者の思いをまとめ発表資料の作成をサポートしました。実践発表に向けた関りの中で、活動者のモチベーションアップ、次の活動展開(空き家対策の強化等)をともに考える機会となりました。
合橋	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティあいはしの生活支援部会を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・生活支援部会に部会員として参画し、助言や情報提供を行いました。また話し合いの内容をまとめ、部会長を通じてフィードバックを行いました。 ・部会で取り組んでいる生活支援活動「まごのて活動」において、社協でキャッチした地域住民からのニーズや質問等を部会につなぎ、相談しながら住民ニーズへ対応することで、住民主体の活動継続をサポートしました。
高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋振興対策協議会のささえあい部と食の拠点「いこいの杜」を協議体と位置づけることについて同意を得ました。 ・ささえあい部会に部会員として参画し、ホワイトボードにより意見を視覚化し、課題整理・集約のサポートを行いました。地域の高齢化が進む中で交流の機会づくりとして「ひとり暮らし高齢者交流会」の開催にあたり、活動内容の提案やレクリエーションのボランティアのコーディネートを行いました。 ・空き店舗を活用した住民の交流拠点「いこいの杜」のスタッフの話し合いにおいて、

	<p>意見集約や課題整理を行いながら、住民交流を広げるための企画づくりの提案を行い、運営をサポートしました。</p> <p>・地区として介護予防を進める支え合い通所介護を「いこいの杜」を拠点に実施し、その活動を通じて、スタッフが住民の困りごとをキャッチし、住民と専門職が協働して困りごとを抱えた「一人」を支える方法の検討を通じて、地域住民の力を高めていけるよう、話し合い(地域サポート会議)をコーディネートしました。</p>
--	--

※平成30年度に協議体と位置づけることについて同意を得た地区のみ掲載

(2) 行政区圏域を基盤とした支え合いの地域づくりの推進

①「集いの場」「見守りの場・話し合いの場」づくりの推進

住民主体の支え合いの地域づくりをすすめるため、コミュニティワーカーが地域に出向き、「集いの場」づくり(いきいきサロン、玄さん元気教室等)の立ち上げ支援、活動の定着支援を行いました。楽しく交流する「集いの場」から住民同士のつながりを強め、困りごとの早期発見や、日常のつながりを活かしたひとり暮らし高齢者や認知症の方等への見守り・支え合い活動へつながるよう働きかけました。

また、行政区において、住民が見守りの必要な方や地域の困りごと等を話し合い、地域の支え合い活動等を検討する「見守りの場・話し合いの場」づくり(見守り会議、福祉委員会等)を住民と協働してすすめることで支え合いの基盤づくりに取り組みました。

ア. いきいきサロン開催地域コミュニティ組織の状況

地域	地区数	設置数		設置率	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
豊岡	10	3	8	30%	80%
城崎	1	1	1	100%	100%
竹野	3	2	2	66%	66%
日高	6	4	4	66%	66%
出石	6	3	5	50%	83%
但東	3	0	3	0%	100%
合計	29	13	23	44%	79%

イ. いきいきサロン開催行政区の状況

地域	行政区数	設置数		設置率	
		平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
豊岡	123	63	88	51%	71%
城崎	31	11	13	35%	41%
竹野	42	22	28	52%	66%
日高	70	37	54	52%	77%
出石	51	27	39	52%	76%
但東	42	24	30	57%	71%

合計	359	184	252	51%	70%
----	-----	-----	-----	-----	-----

ウ. いきいきサロン助成先内訳 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
地域コミュニティ組織	8	1	2	4	5	3	23
行政区	82	12	28	50	36	28	236

エ. 行政区圏域のサロン助成件数 (単位:件)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目以降	合計
平成 29 年度	11	24	12	14	12	13	—	86
平成 30 年度	50	11	24	12	14	13	112	236

オ. 話し合いの場開催行政区の状況

地域	行政区数	設置数		設置率	
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
豊岡	123	51	55	41%	45%
城崎	31	10	15	32%	48%
竹野	42	5	15	12%	36%
日高	70	18	30	26%	43%
出石	51	11	21	22%	41%
但東	42	10	21	24%	50%
合計	359	105	157	30%	44%

カ. 支え合いの地域づくり活動助成件数

助成金額…上限2万円 (単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
平成 29 年度	110	2	5	12	11	2	142
平成 30 年度	113	2	12	23	21	4	175

②福祉委員活動の推進

福祉委員の役割である住民と連携して地域の困りごとに応じた活動を行えるよう「見守り活動を進める」、「異変や困りごとをつなぐ」を活動の2本柱として、福祉委員研修会や「福祉委員のてびき」を通じて浸透を図りました。

各支所で開催した福祉委員研修会は、市全体として戦略を進める観点から統一した内容で行い、活動の2本柱を軸に、集いの場への参加による見守り、異変や困りごとを区長・民生委員・地域包括支援センター等と連携して取り組むことなどを発信しました。

(3) 地域福祉フォーラムの開催

地域活動に取り組む参加者が、自らの取組を見つめ直し、地域活動の価値を知り、地域づくりの意識を高めあうことの大切さを認識する機会として開催しました。

開催日…平成30年12月1日

参加人数…350人

内容…○基調講演「住みよい地域づくりの処方箋～ありのままの暮らしを維持するために～」

講師：島根大学教育学部共生社会教育講座教授 作野広和氏

○実践発表

豊岡地域塩津区 坂井栄実氏

竹野地域なごみてえ 濱上吉徳氏

但東地域資母地区 足田芳久氏

○地域活動の展示コーナー

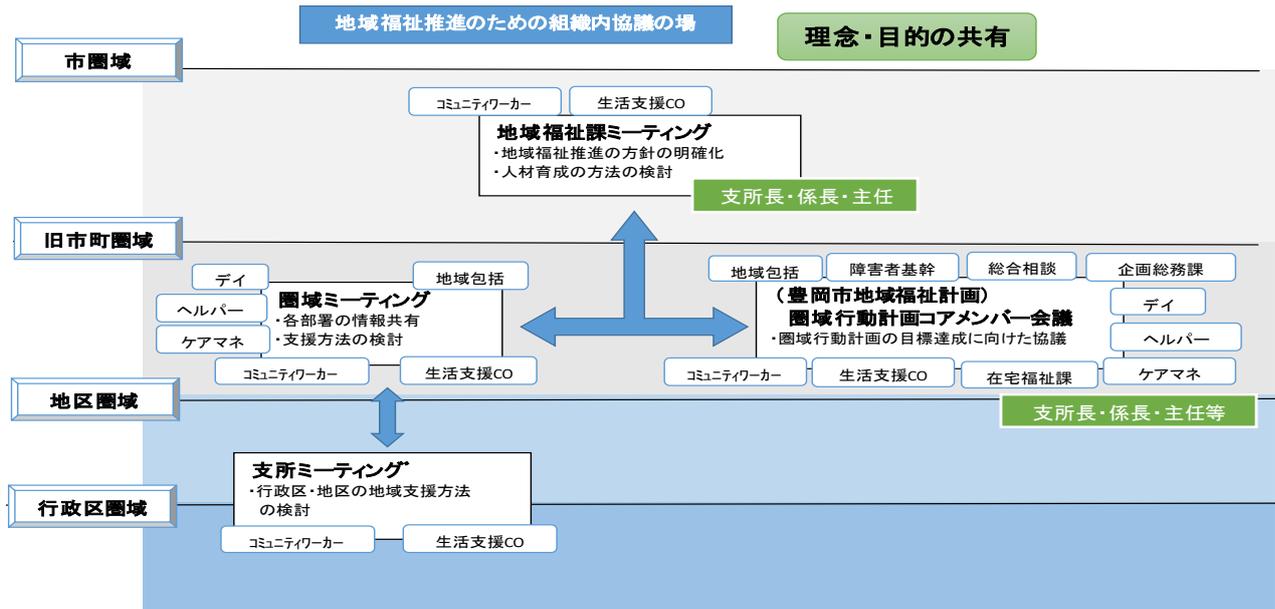
各地域コミュニティ組織、生活協同組合コープこうべ、たじま医療生活協同組合、日高高校等の地域活動の状況を写真やパネルで展示

(4) 豊岡市地域福祉計画の行動計画の推進

豊岡市地域福祉計画に位置づけられている2つの基本目標「総合的な相談・支援体制づくり」、「住民の主体的な地域づくり(住民の集いの場、見守りの場、生活支援の場)」の確実な推進に向け、地域(旧市町圏域)で地域支援と個別支援(相談業務部門、介護サービス部門)の職員が一体的に策定した行動計画に基づいて、組織内連携の強化に向けた各部署の役割の相互理解、各業務や支え合いマップづくり等を通じて把握した地域の生活課題・ニーズの情報共有、それぞれの専門的知識・スキルを活かした困難事例の解決に向けた話し合いに取り組みました。

各圏域の年次目標の達成に向けて、支所長を中心に生活支援コーディネーターや介護サービス事業所の管理者等によるコアメンバー会議を3ヶ月毎に開催し、各部署・事業所の取組の進捗状況の検証、次への取組について検討を行いました。

【行動計画の推進にかかる組織内協議の場の状況】



2. 地域における総合的な相談支援事業の推進

住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、地域の身近な総合相談窓口として関係機関と連携して、地域住民の様々な課題の解決に向けた支援に取り組みました。

(1) 総合相談・生活支援センター

生活困窮者自立相談支援事業をもとにした総合相談窓口として、支援対象者を経済的困窮だけに限らず、生きづらさを抱え社会的に孤立しているケース、該当する制度・サービスが無いような狭間にあるケース、複合多問題ケースなど幅広く受け止め、市、関係機関、地域住民、企業等と連携し、課題解決に取り組みました。

①市・社協の庁内連携体制の強化

実務者レベルで構成される「総合相談支援チーム会議」を中心に、市と社協の各部署で様々な困りごとを受け止め、庁内・組織内の連携を強化し、ニーズを漏らさない支援ネットワークの構築に取り組みました。

ア. 総合相談運営会議

構成メンバー…各課管理職

豊岡市: 社会福祉課、高年介護課、健康増進課、生活環境課、税務課、建築住宅課、こども教育課、こども育成課、水道課、各振興局市民福祉課

社協: 企画総務課、地域福祉課、在宅福祉課

開催日	内容
3月28日	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度自立相談支援事業の実績報告 自立相談支援事業の主な課題に対する取組状況及び来年度の取組みの方向性 豊岡市子どもの貧困対策の方向性

イ. 総合相談支援チーム会議

構成メンバー…各課係長級等

豊岡市: 社会福祉課、老年介護課、健康増進課、生活環境課、税務課、建築住宅課、こども教育課、こども育成課、水道課、各振興局市民福祉課

社協: 企画総務課、地域福祉課、在宅福祉課、各支所、地域包括支援センター

開催日	内容
5月29日	各機関・部署の業務内容及び生活困窮者の対応等について
7月27日	支援困難事例についての検討
9月21日	「家計相談支援における基本的な考え方と支援方法」 講師: グリーンコープ生活協同組合ひょうご室長 覺前典史氏
11月29日	「食と職をつなぐ仕組みづくりについて」 講師: ドーナツの会事務局長 戸田和代氏
1月31日	「制度の狭間にあるケースの支援と連携」 講師: 大谷大学社会学部准教授 中野加奈子 氏
3月18日	平成30年度支援チーム会議のまとめ

②就労体験活動の実施

就労体験受入先…10カ所

体験メニュー…介護施設でのボランティア活動、清掃作業、農作業、製造業の補助、飲食店での皿洗い、パソコン入力作業

体験活動人数…3人

③soto-caféの試験実施

支援対象者の中で自宅に引きこもりがちな稼働年齢層の人たちを中心に参加を呼びかけ、調理や会食・喫茶等を体験し、居場所づくりや食事支援を行いました。

日頃生きづらさを抱える方が主体的に生きる喜びを取り戻し、就労に結び付くなどの成果が出ています。

実施回数…平成30年11月から開始し、計4回実施。

(2) 障害者基幹相談支援センター業務の推進

障がいのある方やその家族の住まい、就労、社会参加等、地域の障がいのある方の生活や福祉の総合的な相談窓口として、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援を行い、地域の相談支援の中核的な役割として関係機関、住民と協働しながら支援を行いました。

①豊岡市障害者自立支援協議会の運営

豊岡市障害者自立支援協議会の運営を通じた地域における障がい福祉に関する関係者の連携や支援体制について、3つの専門部会ごとに協議・研究を行い解決へ向けた取組を行いました。

専門部会	内 容
せいかつ部会	<p>【重症心身障害者(児)の支援を検討するプロジェクトチーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活を送る重症心身障がい者(児)の方が望まれる生活を営むために必要なサービスがどのくらい不足しているのか等を明確にするために実態調査を行い、取り組むべき課題と提案をまとめました。 <p>【住居について考えるプロジェクトチーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸住宅入居希望の障がい者等と不動産業者が安心して入居契約ができる入居支援システムの構築を目指し、不動産業者に障がいのある方の入居時の契約、入居後のニーズについてアンケート・インタビュー調査を実施し、その結果を元に不動産業者とプロジェクトチーム等で懇談会の場を持ち、ニーズへの対応方法等について検討を行いました。
こども部会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者を中心とした、他機関・多職種連携の在り方を検討しました。 ・障がいのある子どもを育てる保護者同士の横のつながりを作ることを目的とした「お話カフェ」を2回開催しました。延べ参加者数 28 人。
しごと部会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用に積極的に取り組んでいる法人を市広報で紹介しました。 ・就労系障がい福祉サービス事業所のサービス管理責任者を対象とした「サービス管理責任者担当者会」を開催し、サービス管理責任者担当者の抱える課題の抽出を行いました(8月 22 日開催・参加者 12 名)。

②地域の相談支援事業者に対する専門的な支援

地域における障害福祉に関する関係者へ同行訪問や3つの専門部会等を通じて支援や連携体制の構築に向けた取り組みを行いました。

地域の相談支援事業者への支援状況

相談支援事業所	利用者実人数	支援方法					計
		支援会議	電話	来所	同行	その他	
6事業所	24人	6回	15回	4回	42回	31回	98回

- ・研修会 実施回数…3回
内容…障害福祉サービスについて、相談員の基本姿勢、グループワーク
- ・事例検討会 実施回数…4回

③障害者虐待防止センター業務

・虐待の早期発見と迅速な対応を行うため当事者、家族、事業所等からの通報や届出の受理(電話・ファックス・メール等24時間受付)を行いました。

【虐待対応件数】 (単位:件)

件数	終結	対応継続

7	4	3
---	---	---

・広報、普及啓発活動として関係機関・団体に研修を実施しました。

内 容	回数
虐待防止・権利擁護研修会	3

(3)地域包括支援センター業務の推進

医療・介護・介護予防・住まい・生活支援など様々な面から高齢者を支えるために、関係機関や地域の社会資源の機能をネットワーク化し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、本人が進んで介護予防・重度化防止に取り組めることを大切にして自立支援に取り組みました。

①認知症の方を支える地域づくり

平成30年度、豊岡市から認知症初期集中支援推進事業を受託し、医師や専門職による支援チームの設置により、認知症の方や、その疑いがある方に早期に関わり、適切な医療・介護・地域の支え合いにつなげる取組を進めました。

認知症の方やその家族に、認知症カフェ等の集いの場について積極的に情報提供を行い参加につなげるなど、その人らしく暮らせる地域づくりを支援しました。

小学校、高校、民生委員児童委員協議会、企業、地域コミュニティ組織等で多世代にわたり認知症サポーター養成講座を開催しました。

【認知症サポーター養成講座開催回数】 (単位:回数)

豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
7	5	4	3	19

②権利擁護支援

虐待の早期発見と迅速な対応を行うため当事者、家族、事業所等からの通報を受け、必要に応じて在宅サービスの導入調整や施設入所への対応を行いました。

【虐待対応件数】 (単位:件)

件数	終結	対応継続
18	6	12

③ケアマネジャーへの支援

ケアマネジャーの資質向上を目的に、アセスメントの幅を意識できる力と収集した情報を統合していく力をつけ自立支援型のケアマネジメントが身につくように支援を行いました。

【ケアマネジャーへの支援回数】 (単位:回)

	ケース 検討会議	同行訪問	個別相談 情報提供	サービス 担当者会議	合計
豊岡	44	134	848	52	1,078

城崎・竹野	4	50	154	9	217
日高	37	60	358	15	470
出石・但東	9	38	17	6	70
合計	94	282	1,377	82	1,835

④多職種の協働・連携による自立支援

自立支援型ケア会議を通じて利用者の望む生活の実現に向けて、生活課題とその要因を分析し、支援についてケアマネジャーだけでなく多職種で検討し、提案された内容がケアプランに反映されて、サービス内容やその効果等について定期的に検証を行い、次のケアプラン作成に活かせるよう支援を行いました。

3. 新たな福祉課題に対応するためのネットワークの構築

地域の多様な生活課題、制度やサービスでは対応できない複合的な問題等の解決に向けて、関係機関、地域福祉活動者等とのネットワークづくりに取り組み、多様なサポート体制によって支援が必要な住民がその人らしく暮らせる地域づくりを進めました。

(1) 地域における公益的な取組に向けた総合支援ネットワークの構築・運営

平成29年4月、社会福祉法改正により全社会福祉法人に「地域における公益的な取組」が責務として義務付けられ、制度やサービスでは対応できない日常生活・社会生活に支援を必要とする住民への福祉サービスの実施が求められています。

本会は社協の協議体組織としての機能を発揮して、市内の社会福祉法人が一堂に会する協議の場を呼びかけ、法人ネットワークによる制度の狭間の問題の解決に向けた連携・協働体制について検討を重ね、平成30年9月、市内全23法人25事業所が参加して豊岡市社会福祉法人連絡協議会「ほっとかへんネットとよおか」が設立されました。

本会は事務局として、各法人がキャッチしている地域ニーズ、公益的な取組を行う上での課題の集約を行う一方、一法人の立場として、法人ネットワークによる地域課題へ取り組むことの効果等について提案を行いました。

【主な活動内容】

開催日	内容
9月27日	設立総会 ・記念講演「豊岡の挑戦」 豊岡市長 中貝宗治氏 ・協議事項 設立趣意書(案)について、規約(案)について、役員選出について
12月20日	灘区社会福祉法人連絡協議会視察(会長、副会長2名、事務局6名)
1月23日	第1回実務担当者会議 ・講演「社会福祉法人による地域における公益的な取組について」 講師:松端克文氏(武庫川女子大学教授)

	<p>・協議事項</p> <p>平成 31 年度事業計画及び予算について</p>
--	--

(2) 地域福祉推進委員会の推進

地域(支所)圏域ごとに区長、民生委員、地域コミュニティ関係者、福祉活動実践者等のメンバーで構成される地域福祉推進委員会を定期的開催し、地区・行政区圏域の住民ニーズ、地域課題の把握・共有、地域福祉活動推進の方向性、それぞれの活動へのフィードバックをテーマとして議論を行いました。

具体的には、ひとり暮らし高齢者等の見守りを必要とする住民の見守り、災害時の要援護者の避難支援、地域コミュニティでのサロン運営方法、地域コミュニティと行政区との情報伝達等について共有し、検討した内容をそれぞれの活動へフィードバックする場としました。

4. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現

(1) 地域福祉・生活支援拠点ぐるらの展開

住み慣れた地域で誰もが豊かな人間関係の中いつまでもその人らしい在宅生活を送れることを支援するために、利用者の生活・価値観を大切に、24 時間、365 日介護サービスが提供でき、医療・看護・地域の支え合いをつなぎ合わせた地域福祉・生活支援拠点ぐるらを日高地域においてスタートさせました。

イベントを通して、子どもから子育て世代、中高年まで様々な世代の地域住民が気軽に立ち寄ることができました。また、住民のアイデアによる様々な交流活動を実施することで、地域における新たな交流・活動の場としての定着化を進めることができました。

① 小規模多機能型居宅介護事業

徹底したアセスメントを行って日中の通い、夜間の泊まり、24 時間対応の訪問を組み合わせ、必要な支援を一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

② 交流拠点

主な地域交流活動

- ・日常的な集いの場(毎日型のカフェ)
- ・地域住民による菜園作り
- ・地域の子ども達の勉強・遊びの場
- ・毎月のシアター上映
- ・地域住民との協働による夏祭り、コンサートの開催
- ・体験教室の開催(クラフト、ダンス等)
- ・利用者の地域行事への参加(地藏盆、保育園運動会の応援、文化協会展への作品出展等)

(2) 障害者相談支援事業の拡充

平成 30 年4月から豊岡、豊岡北、日高ケアプランセンターに障害者相談支援事業(指定特定相談支援事業)の相談支援専門員を兼務するケアマネジャーを各1名配置し、障がいのある方の様々

な生活相談への対応、障害福祉サービスの利用につなげるなど、分野別の支援ではなく、介護保険と障害者計画の両方を担うことで、総合的な相談・支援体制づくりを進めました。

5. 組織体制・財政基盤の強化

(1) 組織の機能強化及び運営強化

地域福祉活動を推進する中核的な組織として、社会情勢の変化に迅速に対応できる組織づくりに向けて、各部会・委員会を中心にマネジメント機能の強化、住民参画による組織運営に取り組みました。

部会・委員会	開催日	協議事項
経営戦略部会	6月5日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度豊岡市社会福祉協議会事業報告並びに決算について 善意銀行の財源確保について
	12月10日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度第1次補正予算案について 職員給与規程の一部改正について 人事審査委員会規程について ヘルパーステーション、デイサービスセンターの経営の方向性について 善意銀行のクレジット決済について
	3月13日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度第2次資金収支補正予算案について 平成 31 年度事業計画案について 平成 31 年度資金収支予算案について
地域福祉部会	7月23日	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動の推進に向けて今後の取組みについて
	11月19日	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉部会と地域福祉推進委員会について 平成 30 年度上半期 集いの場・話し合いの場づくりについて ～豊岡市社協職員として地域福祉推進のため大切にするポイント～ 平成 30 年度介護保険制度「生活支援体制整備事業」における上半期報告
	3月7日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度地域福祉活動の進捗状況について
在宅福祉部会	7月18日	<ul style="list-style-type: none"> デイサービスセンターにおける人材確保と事業運営の見直しについて
	11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパーステーションの課題と今後の方針について デイサービスセンターの課題と今後の方針について
	3月13日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年度重点的取組みについて
善意銀行 運営委員会	7月13日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度善意銀行広報活動計画について
	11月29日	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度地域活動支援センター施設整備助成事業について 寄付の多様化について
	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ランドセルカバーについて 平成 31 年度善意銀行事業予算(案)について

(2) 新人事管理制度の実行

人事管理制度においては、本会はこれまでキャリアパス(ある職位や職務に就任するために必要な一連の業務経験とその順序、配置異動ルート)の構築と、それとリンクさせた人材育成、勤務評価、給与の仕組みがそれぞれ部分的に機能はしていましたが、全体としてうまくリンクしていない状況がありました。

平成 29 年度に設計した新人事管理制度において中長期的な人材育成、コンプライアンスのための組織体制の確立等を見据えて役職や職種で求められる実績や果たすべき責任を定めた役割基準書と役割等級制度、それに基づいた評価制度を定めました。

平成 30 年度から新人事管理制度をスタートさせ、4月から9月はトライアル期間として実施し、10月から本格実施としました。

各職員を役職や経験年数に基づいた役割等級に位置づけ、1次考課者(直属上司)が被考課者(職員)の日々の業務活動実績と意欲態度を記録し、半年間の実績評価を行い、2次考課者(管理・監督職)との協議による評価、人事審査委員会による評点確定、各職員へのフィードバック面接を行い、良かった点、改善点等について確認し合い、人材育成につなげました。

【人事審査委員会の開催】

開催日	対象職員
10月13日	正規職員、嘱託職員
2月6日	嘱託職員

※正規職員の下期の人事審査委員会は平成 31 年4月に実施

(3) 人材育成研修の強化

新人事管理制度で定めた役割基準書、昇格候補者ガイドラインの要件を満たしていくためには、それに適した人材育成研修の構築が必要です。

平成 30 年度は下記を重点目標として、内部研修・外部研修体系の再構築を行い、職員の資質・スキルアップ向上に取り組みました。

【平成 30 年度人材育成の重点目標】

- ①地域福祉計画圏域行動計画の推進
- ②キャリアパスに対応した階層別の資質向上
- ③OJT指導をしっかりと実践できるエルダーの資質向上

【平成 30 年度内部研修実施状況】

No.	研修名	主な対象	出席者数	職場で共有できたと回答した率	業務に活かせたと回答した率
1	財務諸表の見方研修(初級編)	主任	39	49%	51%
2	財務諸表の見方研修(中級編)	監督職	15	60%	73%

3	財務諸表の見方研修(上級編)	管理職	6	50%	33%
4	救急救命法研修(普通救命講習)	全員	43	81%	40%
5	指導力向上研修	監督職・主任	23	78%	96%
6	地域福祉研修	地域福祉職員	55	76%	80%
7	介護保険の基礎知識研修	全員	65	71%	74%
8	労務管理事務研修	担当者	23	91%	91%
9	認知症の基礎理解研修	全員	75	71%	88%
10	ファシリテーション研修	監督職・主任	12	58%	75%
11	人権教育研修	全員	64	83%	83%
12	交通事故撲滅研修	全員	42	93%	93%
13	コミュニケーション研修	一般職員	19	84%	84%
14	リスクマネジメント研修	管理職・監督職	14	93%	86%
15	コンプライアンス研修	非常勤職員	25	76%	92%
16	メンタルヘルスライン研修	監督職・主任	34	65%	85%
17	タイムマネジメント研修	管理職	18	67%	94%
18	新任職員研修	新任職員	46	89%	89%

【平成 30 年度 主な資格取得状況】

ケアマネジャー 2名

介護福祉士 2名

(4)介護サービス事業の機能強化

①部門統括マネジャーの配置

業務の効率化、収益の確保に向けたサービス内容の見直しや指導、管理者やサービス提供責任者等の役割の理解浸透等を目的として、平成 30 年4月、在宅福祉課にヘルパー部門とデイサービス・小規模多機能型居宅介護事業部門にそれぞれ統括マネジャーを配置しました。

②採算性の確保に向けた目標管理

介護サービス事業の確実な採算性の確保に向けて、各事業所で毎月利用者の目標人数を掲げ、達成状況を評価し、達成・未達成の要因を統括マネジャーと各管理者を中心に分析を行い、改善点を検討し、次月の取組につなげました。

(5)善意銀行への多様な寄付方法の開発

善意銀行への寄付が年々減少する中、寄付される方が窓口まで持ち寄るだけという現在の寄付方法の見直しが必要でした。

善意銀行の趣旨や使い途等について賛同を得た企業や店舗等に寄付金箱を設置し、住民や従業員の方が気軽に寄付できる形に取り組みました。

寄付金箱設置協力企業・店舗…20件

寄付金箱への寄付金額…28,415 円

【善意銀行預託状況】

	預託件数	金額
平成 29 年度	268 件	10,980,217 円
平成 30 年度	291 件	10,822,950 円
比較	23 件	△157,267 円

【善意銀行の主な活用状況】

事業	内容	件数
子どもの事故防止事業 (新入学児童ランドセルカバー贈呈)	小学校新入学児童へ交通事故防止の安全対策として、ランドセルカバーを贈呈	760
火事見舞金	火災により住宅を全焼又は半焼した世帯へ 30,000 円の見舞金を支給	14
新入学児童・生徒制服購入助成	新入学児童・生徒のいる要保護世帯に対して、制服やランドセル等の購入費用を新入学準備お祝い金として助成 小学生 15,000 円 中学生 20,000 円	15
地域活動支援センター 施設整備助成	地域活動支援センターが事業に使用する車両、備品購入費の一部を助成し、安定的な運営を支援	1
但馬地区里親会へ助成	但馬地区里親会の活動支援として賛助金を助成	1
青少年非行防止事業 (事務局:豊岡保護区保護司会)	コミュニティセンター、健康福祉センター等の公共施設へ掲示する啓発活動のための標語パネル費用の一部補助	1
緊急食料支援事業	失業や疾病など様々な理由で食べる事ができない生活困窮世帯に、緊急的に食料を提供	29
地域住民交流拠点づくり活動助成	空き店舗、空き家などを活用し、多様な住民(子ども、子育て世代、働く世代、障がいを抱える方など)が集う毎日型の「住民交流拠点」の設置や運営に係る経費を助成	1
貸出用レクリエーション用品購入	いきいきサロン、子ども会、老人クラブ等地域における交流事業を行うグループ、団体に貸し出すゲーム用品を購入	2

6. 第2次基盤強化計画の策定

第1次基盤強化計画の最終年度にあたり、内部・外部識者をメンバーとした策定委員会を中心に、第2次基盤強化計画を策定しました。

各使命、取組の進捗状況の点検・評価を実施し、「地域におけるセーフティネットの砦の機能を確立する。」ために、社会変化、地域課題・ニーズに対応できるよう地域福祉の推進、財政基盤の強化、人材確保・育成等について5年後の有るべき姿をできるだけ数値化又は具体的な状態として計画に表しました。

【策定委員会開催状況】

開催日	協議事項等
10月31日	第1回策定委員会 <ul style="list-style-type: none">・委員長、副委員長の選出・第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画策定スケジュールについて・第1次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画の評価について・基調説明 『豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画策定に向けた外部環境』 兵庫県社会福祉協議会地域福祉部 副部長 荻田 藍子 氏・第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画の重点項目について
12月7日	第2回策定委員会 <ul style="list-style-type: none">・第2次基盤強化計画の使命・行動指針について・第2次基盤強化計画の重点項目・実施項目・具体的取組について
1月29日	第3回策定委員会 <ul style="list-style-type: none">・第2次基盤強化計画(案)の使命について・第2次基盤強化計画(案)の重点項目・実施項目・具体的取組について
2月26日	第4回策定委員会 <ul style="list-style-type: none">・第2次基盤強化計画(案)について・第2次基盤強化計画の推進、進行管理について

7. 広報活動の推進

広報紙、ホームページ、SNSを活用して、まちづくりに取り組む住民、福祉団体のイベント、ボランティア情報、本会の事業や活動内容等の地域の福祉情報を発信しました。

多くの市民に関心を持って読んでもらえるよう、広報紙のタイトルを、「みんながにこっと笑顔になれるような情報をお届けできるように」という意図から『NIKO(ニコ)』に改称しました。表紙の写真の公募を行い、市民から応募された「人と人とのつながりを感じられる、あたたかみのある写真」等をテーマとした写真の掲載をスタートさせ、市民参加による紙面づくりに取り組みました。

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動

1-1 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるよう介護予防サービスをはじめ、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行いました。

相談件数

(単位:件)

事業所	年度	介護相談	総合事業	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
豊岡	H29	761	2,114	3,191	384	259	1,500	95	689	403	521	177	244	10,338
	H30	1,406	2,313	3,568	432	418	2,154	177	1,156	337	887	211	386	13,445
城崎・竹野	H29	304	904	1,593	183	116	742	122	364	260	60	94	163	4,905
	H30	304	798	1,915	171	99	686	56	411	69	113	156	240	5,018
日高	H29	304	1,896	2,506	328	171	527	86	124	131	142	30	28	6,273
	H30	316	1,912	2,455	554	423	633	142	169	137	128	45	53	6,967
出石・但東	H29	698	1,097	1,454	125	242	520	55	179	57	52	213	234	4,926
	H30	759	1,024	1,977	159	292	633	22	151	295	89	53	298	5,752
合計	H29	2,067	6,011	8,744	1,020	788	3,289	358	1,356	851	775	514	669	26,442
	H30	2,785	6,047	9,915	1,316	1,232	4,106	397	1,887	838	1,217	465	977	31,182

ケアプラン作成件数(予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む)

(単位:件)

	豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
平成 29 年度	5,948	2,255	2,752	3,094	14,049
平成 30 年度	6,331	2,570	2,737	3,274	14,912

◇評価

高齢化が進む中、年々相談件数が増加し、高齢者やその家族が抱える課題も多様化、複雑化しています。個別ケースの課題解決のために地域住民や行政、総合相談・生活支援センター、生活支援コーディネーター等の関係機関との協議の場をもち、情報共有や役割分担のもと高齢者が安心して生活が送れるよう支援に取り組みました。また、認知症相談センター、認知症初期集中支援チームの一員として、認知症の方やその家族の相談を受け、早期に医療機関の受診や介護保険サービス等の利用につなげるなど状況に応じた支援を行いました。

1-2 障害者基幹相談支援センター

障がいのある方の総合的・専門的な相談の実施(身体・知的・精神)に加え、地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な支援や人材育成、障がいのある方の地域課題に対しての取組、豊岡市障害者自立支援協議会の運営等、関係サービス事業所と連携を図りながら総合的な支援の取組を行いました。障がい者虐待については、早期発見と迅速な対応を行うため通報、届出受理(電話・ファックス、メール等 24 時間受付)を行うと共に再発防止の観点から虐待後の支援も行いました。

①計画相談支援

障害福祉サービスを利用する際に必要なサービス計画書の作成や関係機関との連絡調整。

計画相談支援実人数(平成 31 年3月末現在) (単位:人)

	障がい者	障がい児	合計
平成 29 年度	226	60	286
平成 30 年度	223	58	281

②一般相談

計画相談には至らないが、何らかの支援を必要とする方への支援。

(平成 31 年3月末現在) (単位:人)

平成 29 年度末 実人数	平成 30 年度 新規実人数	合計
306	42	348

一般相談件数

(単位:件)

	制度 利用	障害・ 病状の 理解	健康 医療	不安 解消	保育 教育	家族・ 人間関 係	家計 経済	生活 技術	就労	社会 参加	その 他	合計
H29	204	35	92	182	7	41	89	26	142	34	72	924
H30	396	33	164	164	8	32	161	58	217	19	227	1,479

◇評価

地域の障害者相談支援の基幹的拠点として、相談支援事業者に対する訪問等による後方支援を行いました。また平成 30 年度は相談支援事業所が増加したことに伴い、相談支援専門員のスキルアップを目的に研修等の人材育成に力を注ぎました。

障害者自立支援協議会では地域課題の解決に向け、ヘルパー研修や障害福祉研修会の開催に加え、3つの部会(せいかつ部会、子ども部会、しごと部会)を通じた取組を行いました。

1-3 総合相談・生活支援センター

様々な生きづらさを抱え、社会的に孤立されている方、経済的に困窮されている方、複合多問題世帯、制度の狭間にある方などを幅広く受け止め相談支援を行いました。

新規相談受付件数 (単位:件)

平成 29 年度	平成 30 年度
117	112

相談件数 (単位:件)

	病気 障害	住まい	収入 生活費	家賃 ローン支払	税金、 公共料金 支払	債務	仕事探し 就職	仕事上の 不安、トラ ブル
H29	63	21	109	32	48	33	48	8
H30	64	25	94	23	42	35	46	21
	地域との 関係	家族関係 人間関係	子育て 介護	ひきこも り、不登 校	DV 虐待	食べるも のが無 い	その他	合計
H29	5	28	13	2	4	28	6	448
H30	4	35	23	11	3	22	10	458

(単位:件)

	平成 29 年度	平成 30 年度
自立支援プラン作成件数	25	27
就職へつながった件数	31	29

◇評価

生活に困窮している、または生きづらさを抱えた相談者の話をじっくり聴き、本人の気持ちに寄り添い、意欲や力を高める支援を市、関係機関、地域住民、企業等と連携しながら、「経済的自立」「日常生活自立」「社会生活自立」に向けて取り組みました。

1-4 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理について、生活支援員や行政、障害者相談支援事業所、福祉施設等

の関係機関・団体と連携を図りながら支援を行いました。

□基幹的社協としての事業実施地域…豊岡市、香美町、新温泉町

契約数(平成31年3月末現在)

(単位:件)

	豊岡市	香美町	新温泉町	合計
平成29年度	66	22	2	90
平成30年度	70	24	1	95

事業の取組状況(問い合わせ・相談援助)

(単位:件)

	福祉サービス利用援助事業に関して	成年後見制度に関して	その他	合計
平成29年度	3,932	54	1,887	5,873
平成30年度	3,942	18	1,505	5,465

◇評価

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者の福祉サービス利用手続きや、日常的金銭管理の支援を行いました。日常的金銭管理等を通じて高齢者や障がい者の地域での安定的な生活を支援していくための事業としてニーズは高く、利用者数が増加しています。

1-5 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等が抱える制度の狭間や複合的な課題に対して、資金の貸し付けを行いました。

資金種類	平成29年度		平成30年度	
	件数	貸付金額(円)	件数	貸付金額(円)
福祉資金	1	140,000	1	456,000
教育支援資金	2	4,510,000	3	7,267,200
総合支援資金	3	1,320,000	0	0
緊急小口資金	8	690,000	5	258,000
臨時特例つなぎ資金	1	50,000	0	0

相談件数

(単位:件)

平成29年度	平成30年度
300	291

◇評価

低所得世帯が緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の貸付を行う緊急小口資金のニーズが最も多いです。緊急小口資金の相談においては、総合相談・生活支援センターと連携し、貸付後の生活再建に向けて支援を行っています。

1-6 法外援護資金

低所得世帯に対して5万円を限度額として(特別な事情がある場合は10万円まで可)法外援護資金を貸し出すことにより、生活の自立を促しました。貸付期間1年以内。

法外援護資金貸付状況

	平成 29 年度	平成 30 年度
貸付件数	8件	7件
貸付金額	397,000 円	350,000 円

◇評価

一時的に困窮し、他の貸付制度では対応できない世帯に対して、法外援護資金の貸付を行うことにより、生活をつなぐ役割を果たしました。相談ケースによっては、総合相談・生活支援センターへつなぎ、自立に向けた支援を行っています。

公共料金の支払いができず、電気・ガス・水道等のライフラインが停止する恐れがある場合や、受診の必要性があるが医療費の支払いができない等の緊急的に支援が必要な場合に、1万円を限度額として(特別な事情がある場合は2万円まで可)貸付を行う緊急少額資金を平成 31 年4月からスタートさせます。

1-7 心配ごと相談

誰もが安心して自分らしい生活が送れるよう、住民が抱える家族・福祉・生計・住宅など多岐にわたるさまざまな悩みについて職員が相談に応じ、解決のための助言や各関係機関につなげました。

相談件数

(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
平成 29 年度	37	9	5	12	6	1	70
平成 30 年度	40	6	2	12	3	0	63

◇評価

住民が抱える様々な生活課題について職員が相談を受け、情報提供・助言を行ったり、関係機関等へつなげました。傾聴により不安が和らいたり、認知症の相談については地域包括支援センターにつないだりするが、人間関係や近隣関係等の相談は解決には至りにくいケースもあります。

1-8 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談

員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

結婚相談所開設日

豊岡…第1・3金曜日 日高…第2・4水曜日

(単位:件)

年度	地域	相談件数	紹介	見合い	成婚	成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)
H29	豊岡	58	183	47	3	3
	日高	31	138	40	0	0
	合計	89	321	87	3	3
H30	豊岡	46	353	121	4	4
	日高	27	293	84	1	0
	合計	73	646	205	5	4

結婚相談所登録者(単位:人)

年度	地域	全但登録者数		計	豊岡市内限定登録者数		計
		男	女		男	女	
H29	豊岡	78	28	106	14	12	26
	日高	50	17	67	21	14	35
	合計	128	45	173	35	26	61
H30	豊岡	106	36	142	15	13	28
	日高	55	47	102	29	13	42
	合計	161	83	244	44	26	70

◇評価

結婚相談事業専用のホームページを通じて会員登録ができることにより、登録者数が増加しています。また、結婚相談員の献身的なサポートにより紹介、見合いといった出会いの機会も増加しており、成婚という成果につながっています。

1-9 婚活事業

20歳～40歳の独身男女を対象に、各種イベントの開催により出会い・交流の場を創出するとともに、婚活サポーターや婚活サポート企業、婚活イベント協力委員等の市民や企業・団体の協力を得ることで、男女の結婚に向けた様々な機会を提供することを目的として事業を実施しました。

豊岡市社協としての事業実施は平成30年度をもって終了し、平成31年4月からは豊岡市へ事業

を移管し、実施されます。

はーとピーイベント開催状況

開催日	参加者(人)	実施場所	カップル数
4月22日	59	豊岡市稽古堂	18
5月20日	30	北神鍋荘	6
6月16日	28	GUBIGABU	5
7月22日	32	ピッツェリア sakai	7
8月26日	25	BLAKITE	4
9月30日	台風のため婚活イベント中止		
10月21日	30	バイキングレストラン白帆	8
11月25日	40	Grand Diner	12
12月8日	23	AK★CAFE	7
1月20日	30	タベルナサクハタ	7
2月24日	24	cafe Lamp eye	5
3月20日	23	しゃんらん出石	4
計	344		83

成婚数 8組

婚活サポート企業 137 社

◇評価

若い世代の出会いの場として浸透しており、毎回多くの参加申し込みがありました。カップル数、成婚数とも増加しており婚活事業としての成果を上げました。

1-10 法律相談

法律の専門家である弁護士が、市民の財産・家族などの身近な法律問題へのアドバイスをを行いました。

開設日…毎月第1火曜日

相談件数 (単位:件)

平成 29 年度	平成 30 年度
89	91

◇評価

相続や離婚、近隣トラブル等に関する法律的な問題に対して、弁護士による的確なアドバイスが行われました。無料で弁護士に相談できる機会としてニーズが高く、定員8名の予約はすぐに埋まる状況にあります。

1-11 緊急食料支援事業

失業や疾病など様々な理由で食べることができない生活困窮世帯に、緊急的に食料を提供し、自立に向けた支援を行いました。

毎月1日を『フードデイ』と定め、社協広報紙を通じて、企業や市民へ余剰となった食品の提供をお願いし、寄付による食料品を活用した緊急食料支援を行いました。また寄付を呼びかけることを通じて、生活困窮者支援への関心を高め、地域の中で生活困窮者を早期発見できる地域づくりをめざしました。

食料寄付件数…29 件

食料支援件数…29 件

ニーズキャッチ機関(単位:件数)

機関・部署	平成 29 年度	平成 30 年度
市社会福祉課	6	4
市健康増進課	0	1
市振興局	1	2
社協本所	3	2
社協支所	7	1
地域包括支援センター	4	0
障害者基幹相談支援センター	0	0
ハローワーク	0	1
地域住民	0	2
総合相談・生活支援センター	23	16
合 計	44	29

◇評価

支援実績 29 件は、昨年度支援実績 44 件からは大幅に減少しているものの、緊急食料支援事業を通じて、食べることができないという危機的な状況を回避することにつながっています。

平成 30 年度は定期的に食料品を寄付いただける企業が増え、緊急食料支援事業に対する理解・協力が得られるようになってきています。市や社協だけでなく、ハローワークや地域住民からの相談も持ち込まれるようになってきていますが、今後も引き続き、社協広報紙などを通じ地域住民へ本事業の周知を図り、地域の中で食べることができない方が早期に発見され、支援につながっていくようPRしていく必要があります。

1-12 福祉団体活動費助成事業

豊岡市内の福祉団体へ社会参加と交流の場づくり、組織化の支援・促進を目的として共同募金

配分金事業として助成を行いました。

助成先	金額(円)
豊岡市老人クラブ連合会	318,000
豊岡市身体障害者福祉協会	312,000
豊岡市手をつなぐ育成会	78,000
豊岡市婦人共励会	186,000
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000
豊岡市遺族会	120,000
豊岡市子ども会連絡協議会	130,440

◇評価

各助成先団体の安定的な運営に活用されていますが、他の福祉団体への助成について検討していく必要であります。

1-13 福祉委員活動の推進

行政区内の見守り活動を、区長や民生委員等と連携してすすめ、異変や困りごとをつなぐことを福祉委員の役割とすることを研修会等を通じて働きかけました。

□福祉委員委嘱数(平成31年3月末現在) (単位:人)

豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
154	31	42	70	51	52	400

□福祉委員研修会

福祉委員が住民と連携して地域の困りごとに応じた活動を行えるよう「見守り活動を進める」、「異変や困りごとをつなぐ」を軸に集いの場への参加による見守り、異変や困りごとを区長・民生委員・地域包括支援センター等と連携して取り組むことなどを発信しました。

地域	開催日	参加者数(人)	内容
豊岡	3月26日	250	<p>【民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会】</p> <p>講演「地域でつながりを持ち、ともに暮らすために～地域で生きづらさを抱える方の実情から多様な地域社会をめざして～」</p> <p>講師:医療法人敬愛会生活支援センターほおずき 谷 友紀子氏</p>

城崎	5月24日	17	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市社会福祉協議会がめざす地域福祉について ・福祉委員の役割について ・城崎・竹野地域包括支援センターの紹介
	10月24日 10月25日	33 16	<p>【区長・民委委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介 「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために」 ・意見交換
竹野	6月4日	35	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市社協がめざす地域福祉について ・福祉委員の役割について ・城崎・竹野地域包括支援センターの紹介
		14	<p>【竹野南支部福祉委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選出 ・意見交換
		6	<p>【中竹野支部福祉委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選出 ・意見交換
		15	<p>【竹野支部福祉委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選出 ・意見交換
	10月17日	39	<p>【竹野地区 民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携についての研修 ・グループワーク ・児童虐待防止運動について ・配食サービス事業ボランティア協力について
	10月18日	17	<p>【中竹野地区 民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携についての研修 ・グループワーク ・児童虐待防止運動について ・配食サービス事業ボランティア協力について
	10月19日	29	<p>【竹野南地区 民生委員児童委員・民生児童協力委員・福祉委員合同研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携についての研修 ・グループワーク ・児童虐待防止運動について ・配食サービス事業ボランティア協力について
日高	6月12日	56	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市社会福祉協議会が目指す地域福祉について ・福祉委員の役割について
	3月12日	88	<p>【いきいきサロン世話役・福祉委員合同研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員の役割について

			・認知症サポーター養成講座
出石	5月23日	47	・豊岡市社会福祉協議会が目指す地域福祉について ・福祉委員の役割について
	11月5日 11月6日	62 33	【民生委員児童委員・福祉委員合同研修会】 ・地域福祉活動における連携の始まりは～顔なじみの関係づくりから～ ・民生児童委員の活動について ・情報交換(グループワーク) 集いの場・話し合いの場への参加について 場の参加の中で困りごと情報提供・交換について 連携について どのようなことができますか
但東	6月1日	36	・豊岡市社会福祉協議会が目指す地域福祉について ・福祉委員の役割について
	7月20日	34	【資母地区 区長・民委委員児童委員・福祉委員合同研修会】 ○資母まちづくり協議会暮らしづくり部会の取組紹介 ○見守り活動について ・生田西(豊岡地区)の紹介 ・集まることから見守り活動へ ～サロン活動～ ・赤野区福祉委員会の取組紹介 ・情報交換(グループワーク)
	9月20日	26	【合橋地区 区長・民委委員児童委員・福祉委員合同研修会】 ○コミュニティあいはし生活支援部会の取組紹介 ○見守り活動について ・生田西(豊岡地区)の紹介 ・集まることから見守り活動へ ～サロン活動～ ・唐川区地域づくりの会の取組紹介 ・情報交換(グループワーク)
	10月1日	19	【高橋地区 区長・民委委員児童委員・福祉委員合同研修会】 ○高橋振興対策協議会ささえあい部の取組紹介 ○見守り活動について ・生田西(豊岡地区)の紹介 ・集まることから見守り活動へ

			<p>～サロン活動～</p> <p>・情報交換(グループワーク)</p>
--	--	--	--------------------------------------

◇評価

福祉委員の重点的な役割として、行政区内の見守り活動をすすめ、困りごとの早期発見、区役員や民生委員との情報共有、話し合いの場(福祉委員会等)への参加が推進されるよう、福祉委員研修会等を通じて働きかけを行いました。また、全戸配布の啓発チラシや広報紙を通じて、福祉委員の役割を地域住民へも周知し、地域の中での見守り活動を推進しました。

1-14 子ども福祉委員

子どもたちが自分の住む地域やそこに暮らす人の生活や地域活動に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、地域内の活動に参加するなど、子どもたちの体験活動を展開し、郷土愛の醸成と豊かなまちづくりを進めることを目的として小学校の児童に子ども福祉委員を任命しました。

(単位:人)

豊岡	新田	竹野	中竹野	竹野南	福住	小坂
13	21	24	27	14	5	10
弘道	寺坂	小野	資母	合橋	高橋	合計
5	3	5	14	10	12	163

◇評価

子ども福祉委員として、あいさつ運動や地域住民との交流活動を行うことで、児童が自分たちの地域に関心を持ち、愛着を深めることへつながりました。

1-15 地域応援事業

世代間交流、地域で支援を必要とする方を支える活動など行政区における先駆的な活動や、障がい者団体や介護者の会などセルフヘルプグループが行う交流、仲間づくりを目的とする活動に3万円を上限として助成を行い、地域における助け合い・支え合い活動の推進を図りました。

助成件数…12件

◇評価

住民の集いの場の立ち上げのきっかけや、世代間交流を深める活動を支援することができました。また、セルフサポートグループの継続的な活動の一助となっています。

1-16 子育てサークル活動支援

地域の子育てサークルが安定的に活動できるよう、年間2万円を上限とした活動助成を実施しました。また、子育て支援ボランティアのマッチング等により活動のサポートを行いました。

助成件数…9件

◇評価

子育てサークルへの活動助成を活用して、消耗品・備品の購入費として使われ、安定的な活動への一助となっています。また子育てサークルのニーズに応じ、子育て支援ボランティアや紙芝居等のボランティアのマッチングによるサポートを行いました。

1-17 障がい者(児)なかよしゲーム・スポーツ大会

障がいのある当事者、障害者通所施設職員、ボランティア等による実行委員会において企画・運営を行い、レクリエーションを通じて相互理解と交流を深めました。

開催日	場所	参加者(人)
3月2日	豊岡市総合体育館	199

◇評価

障がいのある当事者とボランティアが実行委員会を通じて企画づくりを行い、当事者・ボランティアの交流を深め、主体性を高めながら運営を行いました。また当日には、たくさん的高校生・一般ボランティアの参加を得て、障がいへの理解を深める機会となりました。

1-18 障がい者(児)の集える場づくり

障がい者(児)の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生の主体性を引き出しながら、障がい者(児)の居場所として定着化を進めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
豊岡 (北中校区)	7月22日	五荘コミュニティセンター	12
	9月30日	台風により中止	
	12月2日	五荘コミュニティセンター	13
	2月17日		14
豊岡 (南中校区)	7月29日	台風により中止	
	10月7日	豊岡健康福祉センター	11
	3月10日		15
城崎	6月9日	城崎健康福祉センター	32
	8月30日		44
	10月27日		25
	3月9日		35
日高	6月10日	日高健康福祉センター	30

	8月19日		28
	10月21日		27
	3月10日		26
出石	6月9日	出石健康福祉センター	69
	7月7日	大雨により中止	
	9月29日	出石健康福祉センター	49
	3月2日		63
但東	6月30日	但東健康福祉センター	25
	9月30日	台風により中止	
	11月17日	但東健康福祉センター	20
	3月9日		27

◇評価

居場所づくり活動開始から7年が経過し、活動が定着化していますが、当事者やボランティアによる主体的な企画・運営への関りは、地域によって濃淡があります。住民(当事者、ボランティア)がより主体となり、地域の中の居場所として活動を推進していく必要があります。

1-19 障害者(児)クリスマス会

障がいのある当事者、障害者通所施設職員、学生ボランティア等による実行委員会において企画・運営を行い、クリスマス会イベントを通じて相互理解と交流を深めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
豊岡	12月15日	じばさん TAJIMA	208
城崎	12月8日	城崎健康福祉センター	40
竹野	12月15日	竹野健康福祉センター	40
日高	12月9日	日高健康福祉センター	26
出石	12月8日	出石健康福祉センター	96
但東	12月16日	但東健康福祉センター	39

◇評価

障がいのある当事者とボランティアが実行委員会やクリスマス会を通じて障がいについて考える機会を持つことで相互理解を図り、協力してイベントを実施し交流を深めました。

2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習

2-1 ボランティア登録数(平成 31 年3月末現在)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
グループ数	40	18	15	19	54	12	158
加入者数	1,063	227	367	148	474	346	2,625
個人登録者	295	38	8	5	6	80	432

2-2 コーディネート件数

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
ボランティア活動の相談・問い合わせ	302	85	412	357	86	76	1,318
コーディネート件数	467	79	351	355	121	148	1,521

2-3 児童・生徒のボランティア活動推進事業

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉への理解と関心を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

助成先45校

2-4 ボランティア体験教室

ボランティアグループや関係機関と協働し、福祉を身近な事として学べる機会として、幅広い体験教室を開催し、参加者の福祉・ボランティアへの関わりの第一歩としました。

内容…車いす体験、手話学習体験、点字体験、高齢者疑似体験、認知症の勉強等

延べ参加人数…1,289 人

◇ボランティア・市民活動支援センター、福祉学習部門の評価

各地域の集いの場や見守り等の地域活動者は増加する一方で、ボランティアグループにおいては高齢化等により活動者が減少していることから、各ボランティアグループやセルフヘルプグループへの支援を強化する必要があります。

認知症の理解について幅広い世代に浸透することを目的に、小学校、中学校の福祉体験教室の一環として認知症サポーター養成講座の推進を図りました。

3. 在宅福祉サービス

3-1 給食サービス事業(食の自立支援事業)

ひとり暮らし・高齢者世帯などに、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた弁当を作り、お届けしました。

平成29年度まで実施していた城崎、出石地域においては民間事業者等によるサービス提供が可能なことから移行を行いました。

	竹野	但東	合計
実施日数(日)	144	150	294
延利用者(人)	3,782	2,847	6,629

◇評価

ボランティアの協力により栄養バランスの取れた料理と安否確認を兼ねた配達を実施されましたが、ボランティアの高齢化が進んでいることから新たな担い手の確保が必要であります。

3-2 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出し、自立生活の支援を行いました。

貸与品目…車いす、電動ベッド、松葉杖、歩行補助杖、歩行器、シャワーチェア、介護テーブル等
(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
貸出件数	86	26	54	96	85	46	393

◇評価

介護保険での利用が難しい軽度者や、怪我、旅行等で一時的に必要な方が利用され、介護保険制度の谷間を埋める事業として有効に活用されています。

3-3 家族介護支援事業

在宅の介護者に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、心身のリフレッシュを図るために日帰り旅行や食事会を行いました。

	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数(回)	6	6	6	4	22
延参加者(人)	25	18	18	27	88

◇評価

在宅介護者の情報交換、学習の場、交流の場となっているが、介護保険サービスを利用しながら仕事をされている介護者も多く参加者が少ないです。

3-4 生きがい活動支援通所事業

高齢者の方の閉じこもりの予防として、仲間づくりや交流の場としての役割を果たしました。また、ゲームや頭の体操などの様々なレクリエーションや、作品づくりをする事で介護予防の効果も果たしました。

平成 29 年度まで実施していた但東地域においては、地域住民の支えあい活動へ移行を行いました。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	合計
開催回数(回)	44	24	23	12	144	247
延利用者数(人)	104	227	251	69	1,519	2,170

◇評価

利用者の高齢化、身体機能の低下等により介護保険サービスへの移行が増え、新規利用者は減少し、登録者数が減少傾向にあります。

3-5 最高齢者・最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金(各1万円)を贈呈。

3-6 新100歳祝福事業

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金(各1万円)を32名の方に贈呈。

4. 法人運営

4-1 理事会

回数	開催日	出席理事数	協議事項
1	4月26日	11人 監事2人	報告事項9件 第1号議案 豊岡市社会福祉協議会ふれあいいきいきサロン事業助成規程の一部改正について
2	6月7日	10人 監事2人	報告事項1件 第2号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第3号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第4号議案 評議員の解任について 第5号議案 評議員の推薦について 第6号議案 豊岡市社会福祉協議会城崎デイサービスセンター運営規程等を廃止する規程について 第7号議案 豊岡市社会福祉協議会職員6月賞与について 第8号議案 事務局長の退任について 第9号議案 事務局長の選任について
3	7月26日	13人 監事2人	報告事項5件 第8号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第9号議案 平成30年度共同募金(平成31年度事業費)「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会充当計画について
4	8月23日	10人 監事2人	報告事項2件 第10号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について
5	11月22日	11人 監事2人	報告事項10件 第11号議案 豊岡市社会福祉協議会職員12月賞与について 第12号議案 平成30年度歳末たすけあい運動配分について 第13号議案 豊岡西デイサービスセンター運営規程等の一部改正について

6	12月19日	12人 監事2人	<p>報告事項6件</p> <p>第14号議案 評議員の解任について</p> <p>第15号議案 評議員の推薦について</p> <p>第16号議案 豊岡市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の委員の選任について</p> <p>第17号議案 豊岡市社会福祉協議会人事審査委員会規程の制定について</p> <p>第18号議案 出石・但東ケアプランセンター運営規程(指定特定相談支援事業)の制定について</p> <p>第19号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算案について</p> <p>第20号議案 平成30年度第2回評議員会の開催について</p>
7	1月24日	12人 監事1人	<p>第21号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の制定について</p> <p>第22号議案 豊岡市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について</p>
8	2月28日	12人 監事2人	<p>報告事項6件</p> <p>第21号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の制定について</p> <p>第23号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員給与規程の一部改正について</p> <p>第24号議案 豊岡市社会福祉協議会法外援護資金貸付規程の一部改正について</p> <p>第25号議案 豊岡市社会福祉協議会城崎ヘルパーステーション運営規程を廃止する規程について</p> <p>第26号議案 豊岡市社会福祉協議会但東ヘルパーステーション運営規程を廃止する規程について</p>
9	3月20日	11人 監事2人	<p>報告事項3件</p> <p>第27号議案 第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画案について</p> <p>第28号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について</p> <p>第29号議案 平成31年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について</p> <p>第30号議案 平成31年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について</p> <p>第31号議案 豊岡市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について</p> <p>第32号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員</p>

			<p>就業規則の一部改正について</p> <p>第33号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>第34号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について</p> <p>第35号議案 豊岡市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</p> <p>第36号議案 豊岡市社会福祉協議会竹野ヘルパーステーション運営規程等の一部改正について</p> <p>第37号議案 豊岡市社会福祉協議会出石ヘルパーステーション運営規程等の一部改正について</p> <p>第38号議案 豊岡市社会福祉協議会社会人実習生受け入れに関する規程の制定について</p> <p>第39号議案 平成30年度第3回評議員会の開催について</p>
--	--	--	---

4-2 評議員会

回数	開催日	出席評議員数	協議事項
1	6月22日	18人	<p>報告事項1件</p> <p>第1号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について</p> <p>第2号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会決算について</p> <p>第3号議案 定款の一部改正について</p>
2	12月27日	17人	<p>報告事項2件</p> <p>第4号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について</p>
3	3月28日	15人	<p>第5号議案 第2次豊岡市社会福祉協議会基盤強化計画案について</p> <p>第6号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算案について</p> <p>第7号議案 平成31年度豊岡市社会福祉協議会事業計画案について</p> <p>第8号議案 平成31年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算案について</p>

4-3 正副理事長会議

開催回数…11回

4-4 監査会

開催日	内容
5月30日	・平成29年度豊岡市社会福祉協議会事業報告・決算 ・平成29年度豊岡市共同募金員会事業報告・決算
11月13日	・平成30年度豊岡市社会福祉協議会上半期事業報告・収支状況報告

4-5 評議員選任・解任委員会

開催日	内容
6月11日	・評議員の解任について 1名 ・評議員の選任について 1名
12月21日	・評議員の解任について 1名 ・評議員の選任について 1名

4-6 社協会費

一般会費(一世帯年額1,200円)

年度	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
平成29年度	33,043世帯	28,752,080円	23,962世帯	△66,900円
平成30年度	33,178世帯	28,521,900円	23,703世帯	△230,180円

賛助・施設会費(年額2,000円以上)

年度	賛助会費		施設会費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金額	件数	金額		
平成29年度	604	2,676,000円	25	87,000円	31,515,080円	△457,100円
平成30年度	544	2,327,000円	23	73,000円	30,921,900円	△593,180円

5. 介護保険・障害者サービス

5-1 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

延利用者数 (単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
豊岡	1,611	1,633	22
豊岡北	1,969	1,768	△201
日高	2,461	2,325	△136
出石・但東	2,553	2,500	△53
合計	8,594	8,226	△368

◇評価

利用者の状況に合わせて適切なアセスメントを実施し、丁寧な相談を行いました。他機関、他事業所とも連携を図り利用者の在宅生活の支援を行いました。

自己研鑽を目的に計画的に研修に参加し、ケアマネジャーとしての資質向上に努めました。豊岡、豊岡北、日高では障がい者の相談支援事業にも取り組みました。

5-2 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

延利用者数 (単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
豊岡	14,392	15,371	979
城崎	4,718	4,139	△579
竹野	7,117	7,357	240
日高	18,429	15,635	△2,794
日高西	10,371	8,210	△2,161
出石	14,215	11,717	△2,498
但東	10,957	10,669	△288
合計	80,199	73,098	△7,101

◇評価

6月から特定事業所加算を算定したことで利用料が増加し、他事業所へ移行した利用者がありました。利用者の状況は、疾病による障がいの重度化や認知症の方が増加傾向にありました。介護者が高齢化等の理由から介護が継続できないケースが増加しました。今後は介護者の異変に対する早期発見も重要となります。訪問看護と関わるケースが増加し、医療職と連携をとることができました。ヘルパーの高齢化、人材不足は継続的な課題であり、事業所間で訪問の応援体制を調整し、サービス提供を行いました。

5-3訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

延利用者数(単位:人)

平成 29 年度			平成 30 年度			比較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,171	211	1,382	1,472	139	1,611	301	△72	229

◇評価

新規利用者の依頼があると迅速な対応を行いました。初回利用の早期対応を行うことで終末期ケアが必要な方のタイミングを逃すことなくサービス提供を行うことが出来ました。介護支援専門員や訪問看護との連携を密に行い、情報共有を行うことでニーズに沿って柔軟にサービスを提供することができました。障がい者へのサービスは利用者の施設入所により減少となりました。

5-4通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

延利用者数

(単位:人)

	平成 29 年度			平成 30 年度			比較		
	介護	障害	合計	介護	障害	合計	介護	障害	合計
豊岡港	5,812	24	5,836	5,571	0	5,571	△241	△24	△265
豊岡西	5,350	307	5,657	5,273	216	5,489	△77	△91	△168
城崎	1,917	0	1,917	—	—	—	△1,917	0	△1,917
竹野	6,508	79	6,587	6,069	69	6,138	△439	△10	△449
竹野南	2,263	0	2,263	1,928	0	1,928	△335	0	△335
日高中央	4,988	73	5,061	—	—	—	△4,988	△73	△5,061

日高西	6,820	0	6,820	7,429	8	7,437	609	8	617
日高東	5,995	2	5,997	6,395	49	6,444	400	47	447
日高八代	1,835	0	1,835	1,480	0	1,480	△355	0	△355
但東	6,017	0	6,017	5,542	0	5,542	△475	0	△475
合計	47,505	485	47,990	39,687	342	40,029	△7,818	△143	△7,961

◇評価

日高中央デイサービスセンター廃止に伴い、利用者を日高西、日高東デイサービスセンターにスムーズに移行することができました。また業務改善として、利用者支援のあり方、厨房業務の見直し等を検討・実施し、サービスの質の向上に努めました。

地域密着型デイサービスセンター(竹野南、日高八代)において、利用者主体を再度意識してサービスを提供するとともに、地域交流活動として地域のサロンへの参加、地域住民へのデイ便りの発行等を行い、地域に開かれた事業所運営に取り組みました。

5-5 地域福祉生活支援拠点ぐるらん(小規模多機能型居宅介護事業)

日中の通い、夜間の泊り、24時間対応の訪問を組み合わせ、一人ひとりのニーズ・生活に合わせたオーダーメイドの支援に取り組みました。

年間登録者数 26人

訪問回数	通所回数	宿泊回数
2,896	3,160	162

◇評価

柔軟なサービス対応によりどんな状態になっても、最後まで住み慣れた地域での在宅生活の継続を支援できたケースがありました。また、様々な交流イベント等を通じて交流拠点としての理解が浸透し、近隣住民を中心に関わっていただける方も増加傾向にあります。一方、住み慣れた地域の中で自分らしく過ごしていただける支援を行う事を目標としてきましたが、利用者へのアセスメント不足、職員間の情報共有不足、地域資源の把握不足等により自立支援に十分に結び付いていない状況がありました。

5-6 障害者サービス事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある身体障がい、知的障がい、精神障がいがある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や移動介助を提供しました。

居宅介護 延利用者数 (単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
豊岡	1,654	1,876	222
城崎	473	777	304
竹野	579	641	62
日高	855	776	△79
日高西	418	707	289
出石	589	584	△5
但東	1,278	1,261	△17
合計	5,846	6,622	776

同行援護 延利用者数 (単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
豊岡	79	73	△6
城崎	430	286	△144
竹野	0	46	46
日高	37	0	△37
日高西	0	0	0
出石	184	149	△35
但東	0	0	0
合計	730	554	△176

移動支援 延利用者数 (単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	比較
豊岡	54	60	6
城崎	17	0	△17
竹野	43	42	△1
日高	4	25	21
日高西	0	0	0
出石	39	34	△5
但東	0	0	0
合計	157	161	4

◇評価

居宅介護では、精神障がいの方の施設から在宅生活への移行支援が進み、訪問介護の利用が増加しました。訪問介護員だけで対応せず、家族、地域住民、関係機関とも連携し、支援の方向性や対応方法を検討しました。同行援護、移動支援は、土・日曜日利用の希望が多いです。暖冬で雪

が無かったためキャンセルがありませんでした。長時間利用のニーズにも対応し利用者の満足度を高めることが出来ました。

5-7 産前・産後サポーター派遣事業

妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

延利用者数

(単位:人)

	豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
平成 29 年度	178	0	0	0	0	0	2	180
平成 30 年度	261	0	0	0	0	17	39	317

◇評価

第2子以上の出産や遠方からの転勤により利用される方や受診・検診の付添等の支援が増加しました。母親の不安や相談にも対応し、ヘルパー間で情報共有しながら関係機関と連携を図りました。多問題を抱える世帯の支援では利用者側がサービス利用の受入れを拒否されるケースがあり保健師や相談員との協議、協働の強化が必要です。

6. その他

6-1 被災地支援

豪雨、地震、台風等による災害が相次ぎ発生する中、大きな被害を受けた岡山県倉敷市真備町の復興支援のために、ボランティアを集い被災地へ派遣し、泥かきなどの復旧作業を行いました。

また、災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、ボランティアのマッチング等の運営支援を行いました。

(1) ボランティア派遣

活動先	主催	派遣期間	人数
岡山県倉敷市 真備町	豊岡市 豊岡市社協	8月18日	35人【ボランティア30人、市職員3人、社協職員2人】
岡山県倉敷市 真備町	全但社会福祉協議 会連絡会	8月22日	39人【豊岡市…ボランティア9人、社協職員1人】

(2) 職員派遣

派遣先	派遣期間	人数	活動内容
岡山県 倉敷市災害ボランティアセンター	7月24日～ 7月28日	1人	災害ボランティアセンターの運営支援
岡山県 倉敷市災害ボランティアセンター	8月9日～ 8月13日	1人	災害ボランティアセンターの運営支援
岡山県 倉敷市災害ボランティアセンター	8月15日～ 8月19日	1人	災害ボランティアセンターの運営支援
岡山県 倉敷市災害ボランティアセンター	9月12日～ 9月16日	1人	災害ボランティアセンターの運営支援